



おくたま 町議会だより

第183号
平成 29 年 11 月 5 日発行



編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

西多摩郡町村議会議長会議員親睦会



☆開会式の様子

9月29日(金)

山のふるさと村にて、西多摩郡町村議会議員の健康増進と相互の親睦を図ることを目的に、4町村、47名の議員が参加し、次の森林セラピープランを体験して、議員相互の交流を深めました。

- ・ガイドウォーク
- ・アロマ教室
- ・森林ヨガ



☆森林セラピーアシスターが森林散策をサポート



☆アロマテラピストによるアロマ教室



☆湖畔広場で森林ヨガ



第3回定例町議会

第3回定例会は、9月5日から9月15日までの、会期11日間にわたり開催されました。

平成28年度の各会計決算は、本会議初日に提案され、延べ4日間にわたり行われた決算審査について、滝島勇一代表監査委員による審査報告の後、議長と議会選出監査委員を除く10名で構成する決算特別委員会に審査が付託されました。

9月12日、13日の2日間にわたり開会された決算特別委員会で、内容説明、質疑等が行われ、15日の本会議で採決の結果、次の全8会計決算とも全議員の賛成により認定されました。

○認定第1号
一般会計

○認定第2号
都民の森管理運営事業特別会計

○認定第3号

山のふるさと村管理運営事業特別会計

○認定第4号

国民健康保険特別会計

○認定第5号

後期高齢者医療特別会計

○認定第6号

介護保険特別会計

○認定第7号

下水道事業特別会計

○認定第8号

国民健康保険病院事業会計

決算審査報告（監査委員）

平成28年度の奥多摩町における全8会計の決算書類は、関係法令に準じて作成されており、関係帳簿及び会計伝票並びに証票類とも照合の結果、決算の計数に誤りはなく、預金残高とも符合し、基金の運用状況及び予算の執行も、適正かつ正確であり、歳入、歳出とも妥当であったことを認める。

《平成28年度、奥多摩町における健全化判断比率算定書類及び資金不足比率算定書類に関する審査の結果》

算定基礎事項を記載した書類と総括表とを照合の結果、計数等は、すべて正しく、適正に書類が作成されていた。

決算特別委員会質疑

○一般会計

- ・ 自主財源確保の方法
- ・ 公営住宅使用料未収の内容
- ・ 雑入未収の内容
- ・ 町税未収の内容
- ・ 町税不納欠損の内容
- ・ 滞納理由
- ・ 不動産売却収入の内容
- ・ 固定資産税の支払状況
- ・ おくたまコミュニティセンター使用料の内容
- ・ 河川占用料の内容
- ・ 自治会運営交付金の状況
- ・ 職員健康診断結果の状況
- ・ バス路線維持対策費の今後
- ・ 人権・行政・法律相談の状況
- ・ 震災復興特別交付税返還金の内容
- ・ 旧レイクサイドの状況と今後
- ・ 氷川地内用地等買収に伴う物件補償の内容
- ・ 庁舎建設基金の状況
- ・ 子ども110番の登録件数
- ・ 地域ささえあいボランティア事業の利用状況・PR方法
- ・ 福祉モノレール利用・設置状況
- ・ ごみ処理量の状況周知
- ・ 森林セラピーロード他ウォーキングロード巡視委託の内容
- ・ 日照確保対策事業の内容
- ・ 間伐事業事務用備品の内容
- ・ 奥多摩観光協会補助金の内容
- ・ 森林間伐作業委託の内容
- ・ 経済調査会・建設物価調査会負担金の内容
- ・ 首都圏中央連絡道路建設促進協議会負担金の内容
- ・ 林道整備の町の考え方
- ・ 地籍調査事業の今後
- ・ 登山道及び遊歩道整備委託の内容
- ・ 観光施設委託料見直しの検討

- ・川乗山水力発電の状況
- ・農作物被害対策の状況
- ・道路台帳補正作業委託の内容
- ・いら畑放牧地借地料の内容
- ・ワラビ栽培の今後の見通し
- ・木質バイオマスチップの状況
- ・スポーツ広場借地料の内容
- ・消防署庁舎・駐車場用地借地料の内容

- ・消火栓維持管理負担金の内容
- ・森林館設備等更新状況
- ・森林館運営状況・PR方法
- ・文化会館清掃・環境衛生業務委託の内容
- ・文化会館空調設備の状況
- ・防災行政無線デジタル更新委託の内容

- ・耐震性貯水槽設置工事の内容
- ・海外音楽交流派遣事業の今後
- ・消火器詰替えの周知方法
- 都民の森管理運営事業特別会計
- ・歳入歳出差引残高の理由
- ・登山道の整備状況

- 山のふるさと村管理運営事業特別会計
- ・今後の管理・運営

- 国民健康保険特別会計
- ・税額改定の問い合わせ状況
- 国民健康保険病院事業会計
- ・新奥多摩病院改革プランの内容
- ・医師の人数の状況
- ・訪問診療の状況
- ・小児科の設置

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり可決、同意されました。

条 例

- 議案第 36 号
奥多摩町表彰条例の一部を改正する条例
- 議案第 37 号
非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

- 議案第 38 号
奥多摩町公営住宅使用条例の一部を改正する条例
- 議案第 39 号
奥多摩町いなか暮らし支援住宅等活用条例の一部を改正する条例
- 議案第 40 号
奥多摩町若者定住応援住宅活用条例の一部を改正する条例
- 議案第 41 号
奥多摩町文化会館条例の一部を改正する条例
- 議案第 42 号
昭和 58 年度における議会の議員の期末手当の割合等の特例に関する条例等を廃止する条例

報 告

- 報告第 2 号
平成 28 年度決算における奥多摩町健全化判断比率
- 報告第 3 号
平成 28 年度決算における奥多摩町資金不足比率
- 報告第 4 号

奥多摩町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価（28 年度分）

契 約

- 議案第 43 号
小丹波（桜久保）地内若者住宅建設工事

自 治 功 労 表 彰

- 議案第 44 号
自治功労者の決定の同意
清水典子氏（棚沢 777 番地 1）
鈴木賢一氏（氷川 701 番地）

人 事

- 議案第 45 号
奥多摩町教育委員会委員の任命の同意
三富隆行氏（再任）
（海澤 455 番地）

○議案第46号

一般会計(第2号)

○議案第47号

都民の森管理運営事業特別会計(第1号)

○議案第48号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第1号)

○議案第49号

国民健康保険特別会計(第1号)

○議案第50号

後期高齢者医療特別会計(第1号)

○議案第51号

介護保険特別会計(第1号)

○議案第52号

下水道事業特別会計(第1号)

指定管理者の指定

○議案第53号

「青目立不動尊休み処」
桜ホテルズ株式会社(期間は平成30年4月1日から
平成33年3月31日まで)

議員提出議案

次の議案が賛成多数により可決され、内閣総理大臣等に対し意見書の提出が行われました。

○議員提出議案第3号

「全国森林環境税」の創設に関する意見書

意見書の内容

我が国の地球温暖化対策については、2020年度及び2020年以降の温室効果ガス削減目標が国際的に約束されているが、その達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。

しかしながら、森林が多く所在する山村地域の市町村においては、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減少など、厳しい情勢にあるほか、市町村が、森林吸収源対策及び担い手の育成等山村対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

このような中、政府・与党は、『平成29年度税制改正大綱』において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」との方針を示したところである。

もとより、山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源の強化は喫緊の課題である。

よって、下記の制度創設について実現を強く求めるものである。

記

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

第4回定例会

12月12日頃から

予定しています。

詳細は、町ホームページ、

防災行政無線で

お知らせします。

皆様の傍聴をお待ち

しています。

議会だよりのご感想をおよせください

また、議会に対するご意見・ご要望等がありましたら、お気軽に議会事務局までお知らせください。

一般質問

平成 29 年第 3 回定例会では、11 名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、11 月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。（町ホームページ～町議会～会議記録）

また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。

(1) 8 番 高橋 邦男議員 (6 ページ)

- ①今後の「少子化・定住化対策事業」について
- ②鳩ノ巣溪谷遊歩道の整備について

(2) 3 番 澤本 幹男議員 (6 ページ)

- ①観光客誘致宿泊補助事業について

(3) 1 番 木村 圭議員 (7 ページ)

- ①大雨対策の対応について

(4) 11 番 師岡 伸公議員 (7 ページ)

- ①セラピーステーションの有効活用を
- ②雪害に備えて

(5) 9 番 原島 幸次議員 (8 ページ)

- ①2020年東京オリンピックに合わせて町内の観光看板の設置について

(6) 10 番 村木 征一議員 (8 ページ)

- ①森林認証の取得と東京五輪・パラリンピックに向けて各施設建設用の奥多摩産材売り込みについて

(7) 6 番 石田 芳英議員 (9 ページ)

- ①「わさび資料館」等の設置で地域活性化やPRを！

(8) 4 番 清水 明議員 (9 ページ)

- ①国民健康保険制度の都道府県化について
- ②冬期における除雪対象路線の拡大と住民負担の軽減について

(9) 7 番 宮野 亨議員 (10 ページ)

- ①山崩れ、土砂崩れを防ぐ森林整備について

(10) 2 番 大澤 由香里議員 (10 ページ)

- ①移住者対策～あらゆる問題に備えて～
- ②河川の観光利用について
- ③子どもに関する事業の申請条件について

(11) 5 番 小峰 陽一議員 (11 ページ)

- ①奥多摩町職員の労働環境の現状について
- ②雲取山「奥多摩小屋」撤去と今後の周辺管理について



問 子ども子育て支援事業の助成拡大などの検討を。

答 費用対効果を検証し、より良い支援事業になるよう、検討していく。

高橋 ①子ども・子育て支援推進事業は、制定以来拡大され、現在15項目あるが出尽くした感がある。ひとり親・多子家庭への助成拡大の検討を。
②子育て終了後も町内に住み続けてもらえて、はじめて少子化・定住化対策事業が実を結んだと言える。そのために「雇用の確保」はどう考えているか。「住みやすい町」を実現するための町の考えは。

町長 ①関係職員で構成する少子化・若者定住化対策プロジェクトチームが、毎年度、支援事業の費用対効果を検証。見直しすべき支援事業や新たな支援事業の追加、バージョンアップ等を含め、効果的でより良い支援事業になるよう検討している。

②現在、住まいの確保や、保護者の経済的支援を中心とした定住化対策のなかでは、新たな雇用の創出を行うには、時間や費用から考えて難しい。長期的視点で新たな雇用の創出を考え、短期的には、町内から通勤できる場所に就労を進めることが現実的。今後も長期・短期の両視点で移住を希望する方の就労相談に対応する。

「住みやすい町」の実現のために住民皆様の幸福度を評価する項目を定め、定期的に評価を行う。これらの幸福度を高めることで「奥多摩町は住みやすい町」と思うのではないかと考える。

《その他の質問》

高橋 長い間歩く方がいないために鳩ノ巣溪谷遊歩道が荒れている状況。整備計画は。

町長 6年間にわたり利用できなかったこともあり、再整備を実施している。引き続き整備を進めていく。

問 観光客誘致宿泊補助事業拡大の検討を。

答 各宿泊施設の利用状況等を精査し検討していく。



澤本 冬季の観光対策事業として「奥多摩冬の宿泊割引キャンペーン」を1月から3月の期間実施しているが、近年では2月中旬頃に受付終了となっている。冬季観光客対策で大事な補助事業であるため、3月15日までの期間の利用希望者にも対応すべきでは。または予算額の見直しを検討しては。

町長 冬季の宿泊客増加を目指したこの事業は、町内の観光振興と地域の活性化を図ることを目的としている。対象は、奥多摩観光協会に加入している町内の旅館・民宿等に宿泊するお客様で、助成期間は、毎年度1月4日から3月15日までの宿泊分。助成方法は、町が宿泊者一人当たり2千円の助成を行い、事業参加宿泊施設は宿泊料金に応じた上乘割引を行い、町と合わせて最大3千円の割引を行っている。

平成28年度の受付状況は2月中旬に予約で一杯になり、キャンセル等を含め最終受付は3月12日まで対応を行った。今後の事業費は各宿泊施設の利用状況やアンケート等を精査し検討する。

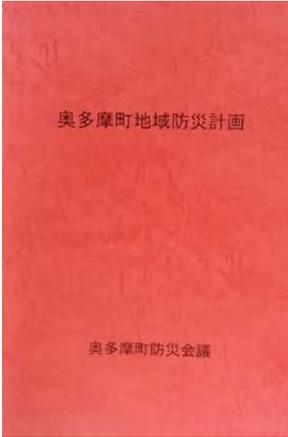


1番 木村 圭議員



問 奥多摩町地域防災計画（※）の見直しを。

答 見直しを進め、さらなる安全・安心を図る。



※地域防災計画は、奥多摩町防災会議が作成する計画であって、奥多摩町の地域に係る災害予防、災害応急対策及び災害復旧を実施することにより、各防災機関等その有する全機能を有効に發揮して住民の生命、財産を災害から保護することを目的とするもの。(第1節 計画の目的より)

町長 今回の気象庁の警報基準が変更されたことにより、地域防災計画の見直しを行う。風水害に関する警報等の伝達の項に掲載している、気象庁予報部発表の警報・注意報発表基準一覧表を新しい基準に基づき変更。風水害対策編全般について近年の災害状況、大雨警報発令基準に基づき、必要な箇所を修正。防災会議で審議を行い修正。庁内で定めている職員の災害配備態勢も見直しを進め、さらなる住民の安全・安心を図っていく。

木村 大雨について、気象庁予報部は警報・注意報発表基準を7月に雨量基準から表面雨量指数に変更した。これは雨量基準では災害管理ができなくなったと考える。各地で起きている甚大な災害が町でもいつ起きてもおかしくない。町の地域防災計画のうち、風水害対策編の災害予防計画、災害応急対策、災害復旧・復興計画の見直しが必要と考えるが。

11番 師岡伸公議員



問 セラピーステーションの有効活用を。

答 休憩所として利用を検討していく。

師岡 森林セラピー基地のスタート地点となる登山原運動公園のセラピーステーションには、現在常駐して対応するスタッフがいない。今後町の財産である森林セラピー事業を展開するうえでもセラピーステーションの有効活用は必要と考えるが。

町長 セラピーステーションがある香りの道・登山トレイルは日本初の森林セラピー専用入口で、ヨガ・座禅ができる広場や水療法を行う施設など、多彩なメニューを行うことができる施設を有している。現在は、ガイドダンス、昼食会場、実習会場等として使用。平成28年度の登山トレイル入口設置の自動カウンターの数値は、9千53人で多くの方が利用されている。今後は、セラピーツアーのない日程で財団職員を1名常駐。セラピーステーションを開放し、チラシやパンフレットの配布を行い、PRを実施。また、休憩所として利用することを検討する。

香りの道 登山トレイル

コース約1.3km、高低差50m。バリアフリー約420m。セラピー専用ロードとして全国初の設置。車椅子のモニターも設置しています。

●コースの特徴
日本初の森林セラピー専用ロードです。JR青梅線「奥多摩駅」からも徒歩15分というアクセスのよいコースです。コースのなかには、ヨガや座禅ができる広場やセルフカウンセリングを行う施設、水療法を行う施設など多彩なメニューを行うことができる設備を整備しています。また、体が不自由な方にもご利用いただくため「車椅子用モニター」も設置しております。

おくたま地域振興財団パンフレットより抜粋

《その他の質問》
師岡 雪害について。
町長 関係機関と連携をしながら、迅速な除雪活動を推進していく。



問 町全体のあらゆる施設や名所等の案内看板の設置を。

答 総合的な案内看板の整備をしていく。

原島 車などで来町される方が有効活用できる看板が無い。カーナビに載らない国・都の文化財や町の文化財である百尋の滝や海沢の三滝のほか、公共施設や災害時の避難所の表示など総合的に住民や観光客がわかりやすい看板が必要では。東京オリンピック以後も東京の奥座敷として外国人の方に多数来町してもらうためにも多言語で表記されている看板が必要では。

町長 観光車両向けの看板は、今後の多摩川南岸道路の開通で多くの車両が通るルートとなることを勘案し、改めて見直しの時期にきている。町観光協会や商業協同組合等と連携して、町のサイン計画を策定し、多言語表記や図で示すピクトグラム（※）を盛り込んだ観光看板の設置に向け検討していく。

カーナビに載らない文化財等の看板設置については、町指定の多くの文化財に案内看板等が設置されていない状況。文化財を所管する教育委員会と連携して、町で策定するサイン計画には文化財等も含め、総合的な案内看板の整備をしていく。

登山のピクトグラム



※ピクトグラムは文字以外のシンプルな図記号などによって表したもの

登山-イラスト素材-無料より引用
<https://pictogram-free.com/05-every-day/469-simplified-image.html>



問 森林認証の取得と東京五輪・パラリンピックに向けて各施設建設用の奥多摩産材売り込みを。

答 オリンピック準備局や産業労働局等へ要望していく。

村木 大会組織委員会はこの大会の主会場となる新国立競技場をはじめ選手村など各種施設に国産材を使用するとしている。東京の地元である多摩産材、特に奥多摩産材の使用に向け関係機関に東京都森林組合を通じて売り込みを。

町長 利用の原則となっている森林認証を東京都農林水産振興財団は既に取得し、東京都森林組合も平成28年12月に取得した。しかし、使用の主となる集材の加工をする大規模な施設は都内にほとんどない。町では様々な県で整備している県産材加工センターと同様な施設を整備するよう東京都に要望している。町のシカ被害の著しい地域の多摩川北岸は、シカ被害が減少するまで当面、主伐を見合わせる地域として、都の地域森林計画・町の森林整備計画に位置付けていて、搬出体制が整っても主伐ができない状況。このような厳しい状況にあるが、世界最大のスポーツと平和の祭典である2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、構造材としての利用が厳しい場合は内装材や家具などとして、奥多摩材を含めた多摩産材が利用されるよう、積極的にオリンピック準備局や産業労働局など、東京都の関係部局等へ要望していく。



林野庁 HP 森林認証材普及促進ガイド
【川上から川下までの森林認証材の安定的な供給体制構築に向けて】
(PDF : 1,582KB)より抜粋



問 「わさび資料館」等の設置で地域活性化やPRを！

答 「中・長期的」な視点で検討していく。

石田 観光面より空家等を利用して「わさび資料館」等に改装し、奥多摩町の特産品であるわさびの資料の展示、DVDによるPR、栽培農家による歴史や栽培方法などの解説等、観光客が立ち寄る場所を作り、地域活性化やPRにつなげては。



町長 わさびのPRは、観光パンフレット(奥多摩ワールド)で料理レシピ等の紹介、町施行60周年を記念して作成したイメージキャラクター「わさびー」、大多摩ウオーキングトレイルのルート(古里付)に観光わさび田を整備し、奥多摩わさび栽培組合に栽培の協力をいただきながら観光客や町民にわさびをPRして利用増進を図っている。

「奥多摩わさび」は生産者の高齢化や専業農家の減少により生産量の低下、休耕田の増加など、先行きに大きな不安を抱えていたが、わさび塾による後継者対策、休耕田の活用、町内外に対して「奥多摩わさび」のPRに努めることで、最も大切な生産基盤の再生と確立を推進している。このため、町内の空家等を利用してわさび資料館等の建設は、今後の中・長期的な視点の中で検討していく。わさびは町の最大の特産品なので、今後も奥多摩わさび栽培組合と連携して、後継者の育成並びにわさび栽培の推進に一層努力していく。

清水 国保制度改正による町におけるメリット・デメリットと住民の受けるメリット・デメリットは。

問 国民健康保険(※)制度の都道府県化について。

※以下「国保」という。

答 医療費の適正化に努めていく。



4番 清水 明議員

町長 市町村単位で運営してきた国保制度が平成30年4月からは都道府県が財政運営の主体になる。その目的は、国保制度の構造的な課題解決と財政基盤の安定化にある。構造的課題とは、高齢の被保険者が多く加入する自治体では医療機関を受診する機会が多く、医療の高度化もあり、一人当たりの医療費は大きくなる。しかし、それを賄う保険税の賦課となる所得は全般的に低く、医療費に見合う保険税が確保できない状況が続いていることによるもの。国保の財政構造は本来、公費5割、保険税5割が原則で医療費の増加に合わせて保険税率も改定し、医療費に見合った保険税額にする必要がある。しかし、多くの自治体では必要な保険税率の改定をせず、不足分を一般会計から繰り入れ、収支を黒字にしている。こうした課題を解決するため、都道府県と市町村が役割分担を明確にした国保の都道府県化が行われる。

・町のメリットは国保財政が安定化すること。
デメリットという言い方が適当であるかどうかは別として、一般会計からの繰り入れを解消していくために保険税率を適正なレベルまで引き上げる必要があること。今回の制度改革においては被保険者の皆様にも医療費に見合った応分の負担をしていただくという極めて妥当なものであるといえる。今後、町では東京都、国保連合会等との連携を強化し、医療費の適正化に努めていく。

《その他の質問》

清水 冬期の除雪対象路線の拡大を。

町長 安全・安心の確保を第一優先に町づくりを進める。



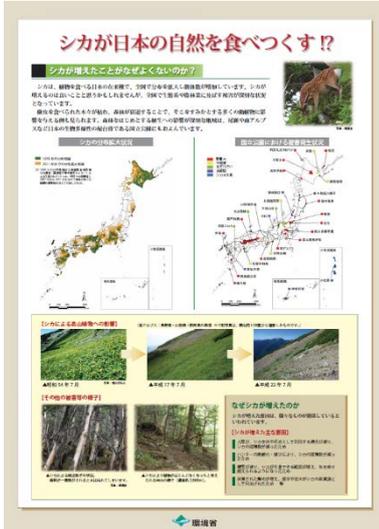
問 山崩れ、土砂崩れを防ぐ森林整備について。

答 奥多摩町森林整備計画を基本に森林整備を推進。

宮野 ①今後の町の森林整備事業の所見は。
②平成29年7月の北九州の山崩れ、土砂災害について町はどのように分析したか。

町長 ①町では平成16年度の豪雨により森林が崩壊した。崩壊原因はシカの食害によるもので森林の公益的機能を失うことがどれだけ危険か経験し、森林整備と保全が大切であることを実感した。町内の私有の人工林の多くは手入れ不足により、林内に陽光が射さず、土壌は痩せ、荒廃した森林となっていることから、土砂災害防止機能などの公益的機能が発揮できる森林に回復するため、間伐や枝打ちを森林整備事業として実施。今後も奥多摩町森林整備計画を基本に推進していく。

②土砂災害には、土石流、がけ崩れ、地すべり等があるが、町ではすべての災害が起る可能性があると考え、全国各地で起きている大災害を教訓に災害への備えを整えていく。



シカが日本の自然を食べつくす - 環境省 (Adobe PDF) より抜粋
www.env.go.jp/nature/choju/effort/.../meaning02.pdf



問 移住者対策～あらゆる問題に備えて～

答 様々な問題を未然に防ぐために対策を講じている。

大澤 移住してこられる方は知り合いが近くにいないことが往々にしてある。何か問題があった時の駆け込み寺的な場所の確保や、連絡先一覧表を作成し、移住時にその情報を知らせておく必要があると考える。移住者に限らず、町民が必要とする人がいるかもしれない。町の対策状況は。

町長 町では、長年町で暮らす方と新たに住むことになった方とを区別せず問題を未然に防ぐために対策を講じている。1. 子どものいる家庭に町の福祉サービス母子子育て編の全戸配布。2. 民生・児童委員と連携した見守り活動等の実施。3. 子どものいる転入家庭に保健師が全戸訪問。4. 子育て支援、各種相談体制の充実。5. 障害や療育が必要な方への支援などを個別に実施。今後とも未然に事故を防止し、事故があった場合は、関係機関が一体となり対応する。

《その他の質問》大澤 河川の観光利用について。河川利用のルールはつくられたのか。

町長 河川の等級により河川管理者が異なるため、都は統一したルールの策定が難しいとしている。町では、町内営業の3事業者と定期的に調整会議を行うこととし、連携体制を構築した。利用者がそれぞれのマナーを守ることを前提にさらなる観光の振興を推進していく。

《その他の質問》大澤 子どもに関する事業の申請条件(親の税金等の滞納)の見直しを。

教育長 保護者の滞納により応募のあった子どもを参加させないということは避けたいと考える。



問 職員の労働環境の向上で職員にやる気を起こさせ、住民サービスの向上を。

答 質の高い住民サービス等の提供に努め、労働環境の改善に努めていく。

小峰 国は、3月に働き方改革実行計画をまとめ、公表した。特に、時間外労働（残業）については、罰則付きの残業規制導入を柱としている。そこで、町の人口は減少しているものの住民への施策が増え、町職員の仕事量が増加していると思われるが、状況は。また、労働環境の向上は、職員の「やる気」を起こさせ、住民サービスの向上に寄与することとなる。今後も労働環境の向上に努めてもらいたい。

町長 平成 28年度 平成 28年度の状況で答える。（下表参照）町では現在、第4次奥多摩行政改革大綱及び基本計画に基づき、質の高い行政運営と行政サービス、住民サービスの提供に努めているが、さらに行政改革を推進し、業務の改善、労働環境の改善に努める。

小峰議員の質問項目	町の回答（平成28年度正規職員の状況）
1 (1) 全職員数 (2) 残業手当の支給対象数	(1) 128人 (2) 113人（管理職手当支給対象者以外）
2 年休の取得率	21.6% 8.2日
3 公休日出勤時の代休取得率	取得率72.6% 次年度繰越19.2%、経過消滅8.2%
4 職員の残業時間（年・月平均）	年平均：174時間 月平均：14時間
5 職員1人当たり残業時間（年単位）	最高：669時間 最低：3時間
6 職員1人当たり残業時間（60時間超の人数）	年間延べ46人
7 人事委員会の有無	39団体（12市5町8村14組合）共同の公平委員会がある
8 職員の組合と36協定の有無	公務員は官公署の事業なので36協定の届け出の必要はないが、職員組合と時間外労働・休日労働に関する協定を結び、労働基準監督署に届け出をしている
9 残業予算不足時の処理方法	補正予算を編成し議会の決定で処理

《その他の質問》小峰 雲取山「奥多摩小屋」撤去と今後の周辺管理について。

町長 施設の老朽化、利用者減少に伴い、取り壊しを行う予定で再建は考えていない。奥多摩小屋周辺のゴミ処理は、今後も継続的にゴミ回収作業を行う。

議会 日誌

8月

- 3日 秋川流域斎場組合議会臨時会
- 西秋川衛生組合議会臨時会
- 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
- 5日 木村奨学会設立50周年記念式典

9月

- 7日 大多摩観光連盟通常総会
- 9日 都町村議長会要望活動
- 25日 表彰審査委員会
- 26日 海外派遣事業帰国報告会
- 29日 西秋川衛生組合運営協議会
- 7日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会都議会へ陳情活動
- 9日 寿楽荘敬老感謝祭
- 13日 西多摩地区消防大会出場隊訓練激励（第1・第5分団）
- 16日 グリーンウッド敬老祝賀会
- 琴清苑敬老感謝祭
- 20日 全国都市緑化祭記念式典
- 23日 西多摩地区消防大会
- 25日 日本語学校内覧会
- 26日 三か町村連絡協議会
- 29日 西多摩郡町村議会議長会議員親睦会
- 30日 氷川小学校運動会

10月

- 2日 戦没者合同慰霊祭
- 3日 官公庁等連絡会
- 奥多摩日本語学校開校式
- 4日 総務文教常任委員会視察研修
- 7日 齊藤次男氏藍綬褒章受章記念祝賀会
- 9日 子ども国際交流音楽祭交流コンサート
- 13日 経済厚生常任委員会視察研修
- 17日 議会だより編集委員会
- 21日 一般財団法人青梅青年会議所設立50周年記念式典
- 24日 東京都道路整備事業推進大会
- 26日 秋川流域斎場組合議会定例会
- 西秋川衛生組合議会定例会
- 27日 西多摩地区議長会議員研修会
- 28日 西多摩地区議長会議員研修会
- 第32回ふれあいまつり
- 町・神津島村友好交流協定締結式



《総務文教常任委員会 視察研修》

平成 29 年 10 月 4 日(水)

4か所の町有地と2か所の若者住宅建設予定地、そして給食センターの視察を行いました。町有地は若者住宅の建設や分譲地など、有効活用が図られることを確認。建設予定地は造成が計画通り進んでいる様子を見る事が出来ました。そして、給食センターではアレルギー体質用メニューを提供していることなど、子どもたちが安全に安心して給食を食べられる環境にあり、安心したところです。保護者の方々をはじめ、住民みなさんにもこの給食センターを見学していただく機会があれば、きっと、安全で安心できる給食が提供されていることを知っていただけるのではないのでしょうか。できれば、ぜひ、試食体験もしていただければと思った一日でした。



《小丹波桜久保》



《給食センター前》



《給食》

《経済厚生常任委員会 視察研修》

平成 29 年 10 月 13 日(金)

東京都事業により来年町内に展開予定のグランピング（※）の視察を行いました。

（※）グラマラスとキャンピングを掛け合わせた造語で、ホテル並みの設備やサービスを利用しながら自然の中で快適に過ごすキャンプのことをいいます。今回は千葉県香取市にある「ザ ファーム」へ行きました。当日は、あいにくの雨の中でしたが、当農園内森の中にある、1番人気の、1日1組だけのプライベートサイトや、人工的に作られた川沿いに並ぶ16棟の豪華なキャンプ設備などを視察しました。



《グランピング施設》



《1番人気の施設》

編集後記

日本の危機的状況の一つに、社会的孤立度(家族以外の者とどれくらい交流があるか)の高さがあります。国際比較調査で、日本人はコミュニケーションが極めて少ないと示されています。その理由は自分サイト以外の事柄に対する無関心です。それによって人と人の支え合いやつながりが弱くなっていきます。社会的孤立を是正するには、「地球的民族主義・地球的公共性」を基本軸に据えた考え方が重要ではないでしょうか。今の時代における「幸福」とは何か。近年、ブータンの国民総幸福量や荒川区の呼びかけのもと、幸福度指標を取り入れた自治体が連携し「幸せリーグ」のネットワーク化も進められています。

村木 征一 (宮野 亨)
 師岡 伸公
 原島 幸次
 澤本 幹男

